（第三種郵便物認可）

SBS CUP 国際ユースサッカー 最終日

SBSカップ国際ユースサッカー（日本サッカー協会、県サッカー協会、静岡新聞社・静岡放送主催）は最終日の11日、草薙総合運動場陸上競技場で2試合を行った。U―18（18歳以下）日本代表はU―18コロンビア代表に1―3で敗れ、6年ぶりの優勝を逃した。日本は2点を追う後半に小田裕太郎（神戸ユース）が1点を返したが、その後追加点を許した。得失点差でコロンビアが優勝した。静岡ユースはU―18ベルギー代表にPK戦で競り勝った。最優秀選手には今大会3得点を挙げたU―18コロンビア代表のMFエドウィン・モスケーラが選ばれた。

きのうの結果

静岡 2―2（PK4―3） ベルギー

コロンビア 3―1 日本

▽最終順位 ①U―18コロンビア代表 勝ち点6、得失点差5 ②U―18日本代表 勝ち点6、得失点差2 ③静岡ユース 勝ち点5 ④U―18ベルギー代表 勝ち点1

	コロンビア	日本	静岡	ベルギー	勝ち点	得失点差
コロンビア		○ 3−1	● 0−1	○ 5−1	6	5
日本	● 1−3		○ 3−1	○ 2−0	6	2
静岡	○ 1−0	● 1−3		○ 2−2 (PK4−3)	5	−1
ベルギー	● 1−5	● 0−2	● 2−2 (PK3−4)		1	−6

静岡 ベルギー下す PK戦

静岡（5）2（1−2、2−0）2（1）ベルギー（PK4−3）

▽得点者【静】エリック（PK）植中（川本）【ベ】カイパー（ヒーラーツ）スレイ（なし）

【評】静岡はPK戦の末、ベルギーに競り勝った。

静岡は前半25分、相手のハンドで得たPKをエリックが決めて先制。その後、ミスから逆襲を浴びて2点を失ったが、後半14分、植中の鮮やかなシュートで追い付いた。

スペースが生まれた終盤は互いに激しく攻め合ったが、ともに決定機を生かせず。PK戦はGK杉本が1本止め、4―3だった。

静岡が何とか有終の美を飾った。PK戦で先攻ベルギーの5人目が外し、決めれば勝ちのキッカーは川本（清水ユース）。相手GKの体をかすめるようにゴール左下に通した。「PKは前日に練習していたけど遊び感覚。すごい緊張感だった」。安堵（あんど）したように両手を胸に当て、

静岡ユース―U―18ベルギー 後半14分、同点ゴールを決める静岡ユース・植中（左）＝草薙総合運動場陸上競技場

植中 値千金の同点弾

仲間の歓喜の輪に加わった。

先制した後に逆襲と守備のミスから2失点。嫌な流れを振り払ったのは植中（JFAアカデミー福島）だった。後半14分、右サイドの川本からボールを受け、最初のトラップで体をくるりと反転。利き足ではない左足で美しいシュートを突き刺した。「ボールをもらった時点でシュートのイメージはあった」。出身地の福岡を離れ、中学から静岡で腕を磨く点取り屋が窮地を救った。

ただ、チームとしては多くの得点機を逃したのも事実。時に大胆な縦パスも織り交ぜてゴール前に迫るも詰めの精度を欠き、終了間際には決定的なシュートを立て続けに外した。

加藤監督は「決定力は彼らの課題であり、日本の課題でもある。彼らがワールドカップに出た時には決めきれる選手になってほしい」とエールを送った。

（木村祐太）

魅力的な試合に

U―18ベルギー代表ジャッキー・マタイセン監督の話 暑さがネックだったが、どちらが勝ってもおかしくない魅力的な試合になった。見ている人たちにとっても良かったのでは。最後まで諦めない精神を我々も見習いたい。

【ベルギー】3・5・2

GK ヘルボッツ（静岡学園高）
ボッツ（清水ユース）
パトリス・ミュレン（清水ユース）
ファンデルセル（清水ユース）
デフェルケン（清水ユース）
ヴココビッチ（藤枝東高）
ドカピ（磐田ユース）
カイパー（静岡学園高）
イメンス 16
イメシライ 9
ツ 7
パー 10
H12
HKK7
SCFG6
SCFG5
HKK8
SCFG14
HKK11

【静】4・5・1

GK 杉本（静岡学園高）
阿部（磐田ユース）
西田（静岡学園高）
エリック（清水ユース）
鈴木瑞（清水ユース）
十島（清水ユース）
五十嵐（清水ユース）
坂本（藤枝東高）
清水（磐田ユース）
川田（清水ユース）
植中（JFAアカデミー福島）

▽PK【静】1【ベ】0

▽交代【静】広岡・JFAアカデミー福島 清水ユース（坂本）
（五十嵐）山崎・清水ユース（植中）長谷川・磐田ユース（清田）
三木・磐田ユース（松村）鈴木海・磐田ユース（鈴木瑞）【ベ】リベール（パトリス）パテュリティス（カッシミ）ヴァエセン（ヒーラーツ）シモンス（カイパー）ヴァンデカンデレーレ（ヴェルケルケン）ヴァンデンケイブス（デフェイセル）バリクウィシャ（スレイ）

日本、コロンビアに完敗

コロンビア（6）3（2−0、1−1）1 日本

▽得点者【コ】E・モスケーラ（PK）、M・イネストロサ（なし）、アロージョ（パス）【日】小田（桜川）

【評】日本はコロンビアのスピードに苦しめられ、完敗した。

前半9分にPKで先制を許すと、26分にもM・イネストロサにドリブルで崩されて失点。中盤やサイドの攻防で屈し、主導権を握られた。

日本は後半から攻撃陣を入れ替えて反撃を開始し、4分に桜川―小田とつないで1点を返した。しかし24分にもサイドを崩されて万事休す。終盤も押し込んだが、小田のシュートがバーをたたくなど好機を生かせなかった。

スピードに屈しV逸

U―18日本―U―18コロンビア 後半、ドリブルで攻め込むU―18日本・小田（右）＝草薙総合運動場陸上競技場

コロンビアの規格外のスピードとパワーに、日本は心身ともに振り回された。影山監督は簡単に2失点した前半を振り返り、「こうした異次元の相手と戦うことが本当の楽しさだが、そこから逃げた選手もいた」と厳しい口調でまくしたてた。

前半の2失点は、いずれも相手の速さに対応できなかったのが要因だ。9分、エリア内に猛スピードで侵入してきた相手に足を掛けてPKを献上。2点目はM・イネストロサの爆発的なドリブル突破で守備ブロックを崩された。県勢から唯一メンバー入りした加藤（JFAアカデミー福島）は「前を向かせたら、手が付けられなかった」と悔しさを隠せなかった。

相手の深いタックルを恐れたか、日本は中盤の肉弾戦でも後手に回った。コロンビアがガス欠気味となった後半は主導権を握ったが、1点を返すのが精いっぱい。

日本が2年後のU―20（20歳以下）W杯で結果を残すために求められるのは、個々のさらなる成長だ。指揮官は「東京五輪代表、フル代表に昇格する選手が早く出てきてほしい」と奮起を促す。レアル・マドリードへの移籍を果たした同世代の久保に続く、新鋭の登場を待ち望む。

（南部明宏）

コロンビア本領発揮

爆発的なスピードと球際の体の強さ。コロンビアは最終日に本領を発揮した。6年ぶりの頂点を狙う日本から3ゴールを奪う快勝。得失点差で若き待たちを上回り、陽気に凱歌（がいか）を草薙の地に響かせた。

個の力を鮮烈に見せつけた。先制した後の前半26分、中盤でボールを奪うとM・イネストロサが圧巻のドリブルで日本DFを振り切り追加点。1点差に迫られた後半24分は、右クロスに中央のアロージョが高い打点のヘディングで合わせて勝負を決定づけた。

カルデナス監督は「スペースをうまく突くことができた」と戦術面も評価。この日の先制点を含め今大会3得点のE・モスケーラは「本当は全試合勝つつもりだったが、2日目以降に盛り返すことができた」と充実の表情だった。

【コロンビア】4・3・3

GK ゲーラ（仙台ユース）
YE・モスケーラ（FC東京ユース）
バスケス（東京Vユース）
バルネン（JFAアカデミー福島）
シアス（愛媛ユース）
セヘル（C大阪ユース）
ヘルン（広島ユース）
イネストロサ（甲府）
モスケーラ（C大阪ユース）
ロージア（帝京長岡高）
ロレンシ（広島ユース）
バルバ
アバカ
メアM 7
E 2
モ 9
ス 11
ロ 8
レ 14
ン 6
シ 10
ア 7
バ 17
カ 12

小木馬加三松鮎中藤晴土
【日】本 4・4・2

▽PK【日】0【コ】1

▽交代【日】西尾・C大阪ユース（木村）小田・神戸ユース（中山）桜川・千葉ユース（晴山）岩本・筑波大（土肥）石田・名古屋ユース（三原）石浦・東京Vユース（鮎川）井出・柏ユース（加藤）【コ】YO・モスケーラ（バレンシア）アイダール（ガルシア）カンパーニャ（M・イネストロサ）ボレロ（E・モスケーラ）

▽警告【日】松本、藤尾【コ】バス、バレンシア、アイダール

令和元年（２０１９年）８月１２日（月曜日）付け静岡新聞朝刊より